

# 日高町豊郷における農作業受託システム化の構築と地域農業の生産性向上

(課題番号 15)

- ◆活動年次：平成28～令和2年度
- ◆対象：日高町豊郷地区 1法人 12戸

## 1 課題の背景

日高町豊郷地区は、水稻・畜種農家が混在しており、作業受託法人（《株》ファーム・W.P）が設立された（図1）。酪農家は粗飼料が不足しており、効率的な粗飼料生産が望まれている。また子牛飼養管理改善が必要である。水稻は「水田面積の維持」や「労働軽減」を目的に省力技術の確立と導入に向けた活動が必要である。地域と合意形成を図りながら、作業受託システム化の構築と、耕畜連携、計画的な作業受委託など農家や法人の経営基盤強化を進める必要がある。

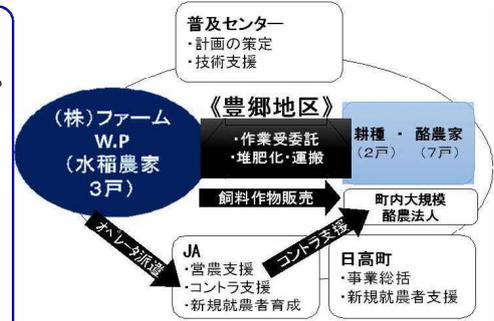


図1 豊郷地区と関係機関の連携体制

## 2 活動の経過

具体的推進事項	主な目標事項	H28年度	H29年度	H30年度	R1(H31)年度	R2年度
酪農、作物の生産性向上	牧草地植生改善の推進	植生調査と栽培管理指導				
	サイレージ品質改善	メドウフォックスの防除対策				
	乳牛飼養管理の改善	飼料用とうもろこしの栽培指導				
	子牛の管理改善	搾乳牛のBCS測定と改善提案・乳検成績を活用した改善提案				
		子牛の生育改善				
地域内作業受託システム化の構築		法人設立2年目	法人設立3年目	法人設立4年目	法人設立5年目 (農地所有適格法人)	法人設立6年目
	受託法人の有効活用	酪農家へ作業委託の推奨				
		W.Pへ飼料作物栽培管理指導				
	効率的作業の実施	構成員の情報交換・共有 (ほ場マップ)の推進		共有情報の有効活用		
	省力化技術の導入	高密度播種(密苗)の導入				

### (1) 酪農、作物の生産性向上

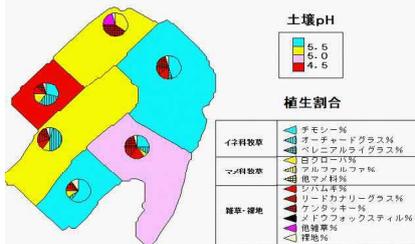


図1 牧草植生改善  
(植生調査から草地更新を提案)



写真1 飼養管理の改善  
(BCS、乳検データを活用)



写真2 子牛の管理改善  
(牛体測定、管理調査で改善提案)

### (2) 地域内作業受託システム化の構築



写真3 法人の有効活用  
(飼料用コーンの収穫等を委託)



写真4 効率的作業の実施  
(ほ場台帳、作業計画作成支援)

水稻高密度播種  
栽培展示圃設置  
↓  
1箱の播種量を  
約2倍にして  
↓  
必要箱枚数半分  
↓  
労力、コスト半分



写真5 水稻現地研修会  
(高密度播種展示圃)

### 3 活動の成果

#### (1) 酪農、作物の生産性向上

< 牧草地植生改善の推進 (J農場の例) >

図3 牧草割合が改善

図4 植生改善で出荷乳量UP

< 飼養管理の改善 >

農場	BCS推移	出荷乳量 (t)		
		H27	R2	H27比
D	改善	328	721	220%
E	低く維持	293	278	95%
F	適正維持	452	427	94%
G	低く維持	272	247	91%
H	改善	186	197	106%
J	適正維持	301	331	110%
全体		1,834	2,203	120%

D農場は規模拡大 粗飼料栽培の全面委託

乳量の増加

★植生、飼養等管理の改善農家で乳量等が増加  
→ 地域の生産性が拡大(^O^)

< 子牛の管理改善 >

図5 体高が向上 (E農場)

農場	H31	R2 又は R3
D	94.1	95.0
E	40.0	77.8
H	100	88.9
J	100	100

#### (2) 地域内作業受託システム化の構築

《受託法人の有効活用》  
飼料作物等の作業委託が増加し、受託面積が拡大した (図6)。

(株)ファームWの取り組み  
飼料用とうもろこし販売  
草地更新・除草剤散布、堆肥の運搬・散布作業、サイレージの運搬

図6 受託面積の推移

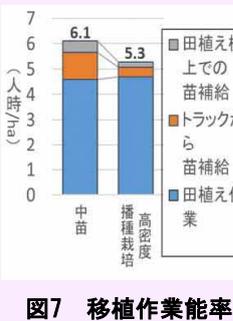
一酪農家  
自給飼料が確保  
労働時間が軽減

地区酪農家1戸が規模拡大

★受託法人の経営が安定 → 地域の生産システムの柱に！！

#### 《省力技術の推進》

省力技術として認識され、高密度播種栽培取組面積拡大が拡大した (0a→240a)。



★水稻面積の維持へ → 次は「省力」且つ「良食味米」生産にチャレンジ!

### 4 今後の対応

- 本課題は令和2年度で終了する。
- 水稻省力化技術支援は継続する。